

中国思想専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国思想特論Ⅰ	唐五代思想史研究	2	齋藤 智寛	前期 金曜日 3講時	
中国思想特論Ⅱ	詩と絵画	2	宇佐美 文理	前期集中 その他 連講	
中国思想史総合演習Ⅰ	中国思想研究上の諸問題1	2	齋藤 智寛	前期 金曜日 5講時	
中国思想史総合演習Ⅱ	中国思想研究上の諸問題2	2	齋藤 智寛	後期 金曜日 5講時	
中国思想文献研究演習Ⅰ	中国中世思想文献研究	2	齋藤 智寛	前期 月曜日 2講時	
中国思想文献研究演習Ⅱ	中国近世思想文献研究	2	齋藤 智寛	後期 月曜日 2講時	

科目名：中国思想特論 I / Chinese Thought (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 3 講時

Semester : 1 学期 単位数 : 2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM15303, 科目ナンバリング：LGH-PHI605J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：唐五代思想史研究
2. Course Title (授業題目) : A Study of the History of Thought in the Tang Dynasty through Five Dynasties
3. 授業の目的と概要：唐五代の儒仏道三教思想について、学術の形式や思想活動の場、また史学や医学、文学などの文化全般との関わりに注意しながら考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In this course the three teachings or Confucianism, Buddhism and Daoism in the Tang Dynasty through Five Dynasties will be discussed, paying attention to their academic forms and sites of intellectual activity, as well as their relationship to culture in general, including history, medicine and literature.
5. 学習の到達目標：唐五代における思想文化の諸相について基本的な理解を得るとともに、思想史研究の視点・方法を理解する。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : To gain a basic understanding of the various aspects of the culture of thought in the Tang Dynasty through the Five Dynasties, and to understand the perspectives and methods of the study of the history of thought.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1、導入
 - 2、初唐における儒仏道三教の古典注釈学
 - 3、道仏二教の戒律と制度 (1)
 - 4、道仏二教の戒律と制度 (2)
 - 5、盛唐の学術と文化 (1)
 - 6、盛唐の学術と文化 (2)
 - 7、古文家の三教思想 (1)
 - 8、古文家の三教思想 (2)
 - 9、唐代後期の三教交渉 (1)
 - 10、唐代後期の三教交渉 (2)
 - 11、晩唐の思想と文化 (1)
 - 12、晩唐の思想と文化 (2)
 - 13、五代十国の思想 (1)
 - 14、五代十国の思想 (2)
 - 15、まとめ
8. 成績評価方法：

レポート (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は講義中に紹介する。
10. 授業時間外学習：紹介された参考書や原典は出来るだけ読んでみることを。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：中国思想特論Ⅱ／ Chinese Thought (Advanced Lecture) II

曜日・講時：前期集中 その他 連講

Semester：1 学期集中 単位数：2

担当教員：宇佐美 文理

コード：LM98808, 科目ナンバリング：LGH-PHI606J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：詩と絵画

2. Course Title (授業題目) : poem and painting

3. 授業の目的と概要：前近代の中国において、世界（風景）がどのように把握され、どのように表現されてきたかを、「詩」と「絵画」の両側面から考える。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : The lecture will consider how the world (landscape) was grasped and expressed in pre-modern China, from the perspectives of both "poetry" and "painting."

5. 学習の到達目標：前近代中国人が世界をどのようにとらえ、どのように表現したかを理解することによって、自身が中国古典詩や中国山水画を扱うときの思想的な糸口のひとつを修得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : By understanding how pre-modern Chinese perceived and expressed the world, students will acquire one of the ideological clues for their own handling of classical Chinese poetry and Chinese landscape painting.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

第一回 概要の説明

第二回 山水画と気

第三回 風景詩の諸問題 (1)

第四回 風景詩の諸問題 (2)

第五回 杜甫と蘇東坡の題画詩について

第六回 杜甫の表現 (1)

第七回 杜甫の表現 (2)

第八回 杜甫の表現 (3)

第九回 白居易の表現

第十回 蘇東坡の表現 (1)

第十一回 蘇東坡の表現 (2)

第十二回 題画詩の展開 (1)

第十三回 題画詩の展開 (2)

第十四回 題画詩の展開 (3)

第十五回 まとめ

8. 成績評価方法：

レポート (100%)

9. 教科書および参考書：

教科書はありません。参考書は授業時に紹介します。

10. 授業時間外学習：随時、中国絵画の図録などに目を通していただければと思います。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：中国思想史総合演習 I / History of Chinese Thought(Integration Seminar)I

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM15501, 科目ナンバリング：LGH-PHI607J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 1

2. Course Title (授業題目)：Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 1

3. 授業の目的と概要：受講者各自が中国思想、哲学についての研究テーマを選択して研究発表を行い、研究水準を向上させるとともに、明晰な表現力、質問に的確に答え、効果的に人を説得する能力も涵養する。さらには、他の受講生の発表への批評を通して、他者の意見を批判的に吟味する機会とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to supply students with an opportunity of delivering their own essay on any philosophical topic they choose, and thereby to help them to enhance their level of research, to develop their ability to express their thought clearly, to respond to each question accurately, and to persuade others effectively. Students are also given a chance of thinking critically about other opinions, through commenting on essays of other students.

5. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop their own fundamental skills that enable to summarize preceding research and establish their own research topic.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：顔合わせと趣旨説明

第2回：発表と討議 (1)

第3回：発表と討議 (2)

第4回：発表と討議 (3)

第5回：発表と討議 (4)

第6回：発表と討議 (5)

第7回：発表と討議 (6)

第8回：中間まとめ

第9回：発表と討議 (7)

第10回：発表と討議 (8)

第11回：発表と討議 (9)

第12回：発表と討議 (10)

第13回：発表と討議 (11)

第14回：発表と討議 (12)

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

発表内容 (50%)、討論への参加状況 (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。

10. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から1時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には1週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国思想史総合演習Ⅱ／ History of Chinese Thought(Integration Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM25501, 科目ナンバリング：LGH-PHI608J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 2
2. Course Title (授業題目)：Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 2
3. 授業の目的と概要：前期での発表や討議にもとづいて、受講者各自が、それぞれの研究テーマにもとづく論文の草稿を作成して発表するとともに、受講者全員が、その発表にもとづいて自由に討論する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Based on the presentations and discussions in the former semester, each student will prepare and present a draft of a paper about their own research theme, and all students will discuss the paper.
5. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop their own fundamental skills that enable to summarize preceding research and establish their own research topic.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回：顔合わせと趣旨説明
 - 第2回：発表と討議 (1)
 - 第3回：発表と討議 (2)
 - 第4回：発表と討議 (3)
 - 第5回：発表と討議 (4)
 - 第6回：発表と討議 (5)
 - 第7回：発表と討議 (6)
 - 第8回：中間まとめ
 - 第9回：発表と討議 (7)
 - 第10回：発表と討議 (8)
 - 第11回：発表と討議 (9)
 - 第12回：発表と討議 (10)
 - 第13回：発表と討議 (11)
 - 第14回：発表と討議 (12)
 - 第15回：まとめ
8. 成績評価方法：

発表内容 (50%)、討論への参加状況 (50%)
9. 教科書および参考書：

教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。
10. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から1時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には1週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：中国思想文献研究演習 I / Literature on Chinese Thought (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 月曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM11204, 科目ナンバリング：LGH-PHI613J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世思想文献研究
2. Course Title (授業題目)：A Study of Chinese Medieval Thought Literature
3. 授業の目的と概要：北周・武帝（在位：561-577）の命で編纂された道教類書『無上秘要』を会読する。写本や版本など異なった媒体の性格にも留意しながら、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course is a reading of the Wu Shang Hui Yao (無上秘要), a Taoist encyclopaedia compiled at the behest of the Northern Zhou Emperor Wu (reigned:561-577). The aim of the course is to cultivate the ability to produce accurate translations of Chinese thought literature, while paying attention to the different characteristics of different media, such as manuscripts and wood printed books.
5. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳および思想史的視点からの訳注を作成できる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：To be able to read and understand original sources of Chinese thought and to prepare accurate Japanese translations and notes from a historical perspective.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1、導入
 - 2、『無上秘要』会読 1
 - 3、『無上秘要』会読 2
 - 4、『無上秘要』会読 3
 - 5、『無上秘要』会読 4
 - 6、『無上秘要』会読 5
 - 7、『無上秘要』会読 6
 - 8、『無上秘要』会読 7
 - 9、『無上秘要』会読 8
 - 10、『無上秘要』会読 9
 - 11、『無上秘要』会読 10
 - 12、『無上秘要』会読 11
 - 13、『無上秘要』会読 12
 - 14、『無上秘要』会読 13
 - 15、まとめ
8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況 (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。
10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：

科目名：中国思想文献研究演習Ⅱ／ Literature on Chinese Thought(Advanced Seminar)II

曜日・講時：後期 月曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM21204, 科目ナンバリング：LGH-PHI614J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世思想文献研究
2. Course Title (授業題目)：A Study of the Literature of Early Modern Chinese Thought
3. 授業の目的と概要：中国明代（1368-1661）の士大夫による思想文献を会読する。参考資料として儒仏道三教それぞれの典籍を駆使しながら、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to provide students with the opportunity to read the thought literature of the Ming dynasty (1368-1661) in China. The aim of this course is to cultivate the ability to produce accurate translations of Chinese thought literature, making full use of the Confucian, Buddhist and Daoist texts as reference materials.
5. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳および思想的視点からの訳注を作成できる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：To be able to read and understand original sources of Chinese thought and to prepare accurate Japanese translations and notes from a historical perspective.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1、導入
 - 2、中国近世思想文献会読1
 - 3、中国近世思想文献会読2
 - 4、中国近世思想文献会読3
 - 5、中国近世思想文献会読4
 - 6、中国近世思想文献会読5
 - 7、中国近世思想文献会読6
 - 8、中国近世思想文献会読7
 - 9、中国近世思想文献会読8
 - 10、中国近世思想文献会読9
 - 11、中国近世思想文献会読10
 - 12、中国近世思想文献会読11
 - 13、中国近世思想文献会読12
 - 14、中国近世思想文献会読13
 - 15、まとめ
8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況（100%）
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。
10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：